

# ARAI NEWS

みなさんがヘルメットを選ぶ時の条件はいろいろ考えられます。安全性が高い事ももちろんですが、通気性の良い事、かぶり心地が良い事、ファッションブルな事、アドシスのように使い勝手の良いシステムがついている事なども大切な条件です。こういった様々な条件を組み合わせてヘルメットを選んでいくわけです。でも、ファッション性や通気性は目で確かめる事ができますが、もっとも肝心なヘルメットそのものの性能については、自分で確認することはなかなかできません。そこで今回は、良いヘルメットを選ぶための目に見えないチェックポイントをいくつかご紹介させていただきます。

## 1 両手でヘリを左右から圧迫してみる。

ヘルメットの安全性能の目安のひとつに、どの規格をクリアしているかが挙げられます。これはラベルで表示されていますから、一番性能の高いものを選びたいならばスネル規格のラベルが表示しているものがベターでしょう。ただしどうせ選ぶなら同じ規格の中でもよりしっかり作られているかどうかをチェックしてみたいものです。というのは規格のほとんどはヘルメットの上部で試験されるため、ヘルメットの上の方については、どれでも一定のレベルに達していると考えても間違いありません。しかし万一の時の、衝撃はどこからやってくるか予測がつかず、規格の範囲外で受ける可能性も多分にあります。規格外までしっかり作られているかどうかは、ヘルメットのヘリを両手で左右から圧迫してみ、その変形量を比較してやることでチェックできるのです。もちろん、変形量は少ない方が良い事は言うまでもありません。また、変形量が少ないということはヘリまでしっかり作られているということで、こうしたヘルメットは一般的にヘルメット自体の重



心位置が、そうでないものに比べて下にきています。重心位置が下であれば、同じ重量のものをかぶっても、かぶった時に歪みを感じる首に対する負担が大きく軽減されます。ヘルメットは手に持った時よりかぶった時に軽く感じるものを選びたいものですが、ヘリまでしっかり作られているかどうかは、そのためのチェックポイントにもなるのです。

## 2 内装内側の発泡スチロールを押してみる。

転倒の際、頭は地面に直接衝突するかわりに、ヘルメット内側の発泡スチロール製の緩衝体にあたって衝撃を吸収することになります。ところが同じ規格のヘルメットでも、緩衝体が頑丈で緩衝体の比較的柔らかなものと、緩衝体がやわで緩衝体の硬いものがあります。従って同じ規格ならば、内装の内側の発泡スチロールは、硬いものに比べて柔らかい方が痛さを感じる割合も少なくなる訳です。そこで、内装内側の発泡スチロールを押してみるのもこうしたチェックポイントのひとつとなります。

## 3 自分の頭の正しいサイズを知る。

正しいサイズはメジャーで、おでこから耳の上を通り、そのまま自然に一回りさせると知ることが出来ます。その際、髪の毛の多少によってもサイズがバラついてきますので、メジャーをきつめにした場合とゆるめと已通り

のサイズを計って下さい。もしきつめで57cmでゆるめにしたら58cm位だったならば、(57-58)サイズを試着してみると、大概の方は、それでピッタリのはずです。また、頭のサイズがピッタリでも、ホホのサイズが合わない場合などは、システムパッドのようにホホのサイズを調整できるようなモデルを選ぶこともポイントとなります。

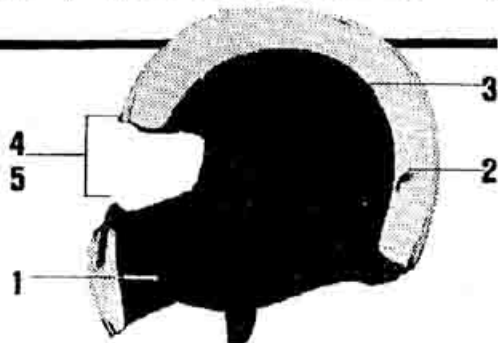
## 4 十分な視界が確保されているか確認する。

ライディングを想定し前傾姿勢のまま前を見て下さい。ライディング中の前方視界のポイントは、窓上部のカット方法にあることがわかります。また、前傾姿勢のまま後方を振り返って見て下さい。後方確認のための視界は、窓下部のホホ部カットラインが広くなければなりません。窓上部と窓下部ホホ部のカットラインが広くとられているかどうかもチェックポイントです。

## 5 シールドが簡単に交換できるか確かめる。

これから陽射しが強くなっていくにつれ、昼間はスモークを取り付けた方が目に対する疲労も少なくなり安全につながるでしょう。ただし夜間の走行では、必ずクリアーなど色の薄い透過率70%以上のものに交換することが必要になります。シールドもワンタッチで開閉、着脱できるものを選ぶのも大切なチェックポイントとなります。以上のようなポイントをチェックした上で、ヘルメットを選んでいただければ、長い間使えるはずですが、他にも、こんなところをチェックしてヘルメット選びの参考にしているなんて方がいたらお知らせ下さい。もっともなご意見をいただいたならば、この紙面上で紹介させていただくことを考えています。

## ヘルメット通のすすめ 良いヘルメット選びのための チェックポイント



(株)アライヘルメット  
〒330 埼玉県大宮市東町2-12  
TEL(048)641-3825~7



●アフターサービスの窓口は品質管理課です  
製品の事なら、お気軽にご相談ください  
直通 TEL(048)645-3661